



# チームしが 県議団

## 会派ニュース

発行責任者/中沢 啓子  
編集責任者/田中松太郎

2020年8月 第23号

チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階 TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520 MAIL/info@knw.jp



代表質問に立つ 河井 昭成 議員

**A [知事]** 2月定例会議から今定例会議までの新型コロナウイルス対策補正予算の歳出総額は約674億円。県民の命と財産を守る上で、必要な支出であるが、今後の財政運営に大きな影響がある。今年度の一般会計予算の組み替えや、来年以降の予算編成のあり方を大きく変える必要があると考えるが、今後の財政収支の見通しと財政運営について伺う。

**Q [知事]** 感染症による社会・経済活動の停滞や、大きな影響を与えることが懸念され、今後の状況は予断を許さない。

**A [知事]** 世界経済の悪化で、本県経済や県税収入に大きな影響を与えることが懸念され、今後の状況は予断を許さない。

**Q [知事]** 感染症と付き合いながらという観点から、福考えるが、県の見解と今後の対応を伺う。

**A [知事]** 新型コロナの流行の第二波が来ることを想定しながら、介護・福祉施設でも感染症対策に対し万全に備えることは喫緊の課題。今回の補正予算で、感染症対策に対する備品購入、衛生材料の備蓄、研修会の開催等に要する費用を計上している。関係する事業者や団体のご意見等を伺い、研修会の開催や、クラスターが発生した入所施設への

### 新型コロナウイルス感染症について

私たちに大きな影響と変化をもたらした新型コロナウイルス感染症。これまでに、感染症への対策に取り組んでこられた皆さん、治療に当たってくださった医療従事者の方々、社会機能の維持に貢献している方々をはじめ、すべての県民の皆さんのお力があつて現在に至っていることに感謝を申し上げます。まだ感染症は終息に至っておらず、次々に発生する様々な課題、刻一刻と変化する社会状況に応じて的確に対応しなければならない状況であることを認識しながら、コロナと付き合っていく必要があります。今後もしっかりと県民の皆さんに寄り添った議論を重ねてまいります。(動画もぜひご覧ください)

今定例会議は、河井昭成議員(大津市選出)が会派を代表して質問をしました。(6月29日)その内容について報告します。(動画もぜひご覧ください)



質問



答弁

### 6月定例会議 代表質問

今後、県として必要な感染症対策をしっかりと行い、限られた財源を有効活用するためにも、令和2年度当初予算における事業内容を再検討し、事業の組み替えも含め、適切に整理したい。

感染症への対応は、長期戦覚悟しなくてはならず、必要な対策を講じつつ、持続可能な財政運営が行えるよう適切に対応していく。

経済活動を以前の水準で行うには、感染した人を的確に発見・隔離・治療へつなげる必要があると指摘されている。病床数、宿泊療養施設、検査能力など、今後必要な医療提供体制と検査体制について伺う。

Q

本県のこれまでの感染動向等を踏まえ、

要があると指摘されている。病床数、宿泊療養施設、

検査能力など、今後必要な医療提供体制と検査体制について伺う。

Q

人を的確に発見・隔離・治療へつなげる必

要があると指摘されている。病床数、宿泊療養施設、

検査能力など、今後必要な医療提供体制と検査体制について伺う。

Q

本県のこれまでの感染動向等を踏まえ、

要があると指摘されている。病床数、宿泊療養施設、

検査能力など、今後必要な医療提供体制と検査体制について伺う。

Q